

報告日: 2009 年 10 月 29日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 1 班 報告者氏名: 林 凱銘

1. テーマ:地球温暖化による愛知県の農業への影響について
2. テーマの説明:地球温暖化は、最近、農作物の価格の高騰という身近な問題として影響が出てきた。
それにより、このまま価格の高騰が継続すると、今まで簡単に入手できていたものが、入手しづらくなるのではないかという危機感を感じた。このように地球温暖化が、農業に対して影響を与えることを知り、自分たちにも関係があることを意識し調査することにした。
- 3 調査方法:資料収集(インターネットや図書館など)、アドバイザー教員への質問
訪問調査 愛知県農林水産部農林政策課
- 4 全体の日程:

10月31日	影響の調査
11月5日	調査・まとめ
11月12日	パワーポイントの作成
11月19日	中間報告会
11月26日	訪問調査
12月3日	まとめ
12月10日	ポスターの作成・パワーポイントの修正
12月17日	調査研究報告会
12月24日	報告作成
1月7日	報告書と分担表の提出
1月21日	総合評価

報告日: 2009 年 10 月 29 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 2 班 報告者氏名: 村瀬 将史

1: (タイトル): 中部国際空港の老朽化問題について

2: (テーマ説明): 空港内における地盤沈下について

3: (調査方法): I インターネット等による情報収集

II 現地調査

4: (全体の日程)

⑤10/31 情報収集

⑥11/05 情報収集／パワーポイント作成

⑦11/12 現地調査／パワーポイント作成

⑧11/19 中間発表

⑨11/26 再調査

⑩12/03 再調査／ポスター作成

⑪12/10 ポスター作成

⑫12/17 最終報告会

⑬12/24

⑭01/07

本報告書のファイルは、本授業の HP <http://godos2.daido-it.ac.jp/kpage/sumi/poroj/proj.htm> からダウンロードできます。

報告日: 20 09 年 10 月 29 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 3 班 報告者氏名: 杉本 英治

1. タイトル:名古屋市のペットボトルのリサイクルの現状について

2. テーマの説明(詳細)

・どういう疑問に基づいたテーマなのか

現在ペットボトルは正規の再処理の業者に引き渡されずに中国に輸出され燃料として利用されている、ということが本当かどうか、ということや、実際のペットボトルはどのような方法を経て再利用までいくのか、ということに疑問を持ったため、このテーマにしました。

・内容の絞り込み(漠然としたものではないこと)

現在名古屋市が行っているペットボトルのリサイクルについて調べる。名古屋市内にはリサイクル工場自体がないようなので、工場訪問は市外で行うことになります。

3. 調査方法(詳細)

- ・資料調査:学校のパソコンで、ペットボトルのリサイクル施設の HP を見て処理方法などを調べたりする。
- ・学外訪問:実際にリサイクル工場へ訪問して、見学、質問をする。

予定場所:ウツミリサイクルシステム

株式会社 レミックマルハチ

4. 全体の日程(詳細)

10月31日、11月5日 訪問の際に何を質問するか決める。パソコンを使って調査

11月12日 工場訪問をして見学、質問

授業外で集まってまとめる(パワーポイント)

11月19日 中間報告

報告日：平成 21 年 10 月 29 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ： 4 班 報告者氏名： 小川 竜治

1. タイトル: 迫りくる巨大地震

2. 説明

近年來るといわれている東海大地震が及ぼす被害の規模とそれに対して名古屋市がどのような対策をとっているか。

3. 調査方法

- ・東海大地震について調べわからなかった事項や、調べた事項について名古屋市で地震対策の研究をしている施設に訪問し、局員に聞く。
(質問は個人個人で考える。)
- ・名古屋市港防災センターを訪問する予定。

4. 全体の日程

10/31 施設訪問にあたっての調査・質問事項の確認

11/5 防災センター訪問

11/12 調査報告まとめ

11/19 中間報告会 (問題提起のみ)

11/26, 12/3, 12/10 問題解決の提案検討(アドバイザー教員に相談)

12/17 報告会

12/24 報告書作成

1/7 提出

報告日: 2009 年 10月 29日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 5 班 報告者氏名: 小松 小真 結

1. テーマ:名古屋港の水質の変化による生態系の変化

2. テーマ説明

名古屋港が汚れた原因を調べる。

水質が悪くなったことによって生態系(微生物とか、魚介類とか)にどのような変化がでたのかを調べて、改善策を考える。

3. 調査方法

ネットや文献を使って調べる。

実際に現地へ行く

研究機関へ行く

4. 全体の日程

10月 31 日

名古屋港の生態系について、ネットや文献で調べる。

名古屋港ができる前と、できた後の水質の変化と海洋生物の遷移

生態系が変わった原因。(変わっていたとしたら)

11月 5 日

10月31日に引き続き、

堀内先生の資料で、予習。

セントレアの予習。

PP にまとめる。

11月12日 セントレアの見学

PP 作る。

11月19日 中間発表

後半

環境科学研究所へ行く

名古屋港へ行く(今、名古屋港に住んでいる生物の調査)

昔の名古屋港と、今の名古屋港を知っている人から話を聞く

本報告書のファイルは、本授業の HP <http://godos2.daido-it.ac.jp/kpage/sumi/poroj/proj.htm> からダウンロードできます。

報告日: 2009 年 10 月 29 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 6 班 報告者氏名: 国枝 周栄

1テーマ

藤前干潟の野鳥

2テーマの説明

絶滅の危機にある野鳥を調べる。

3調査方法

インターネット
本
藤前干潟野鳥館

4全体の日程

10月31日 インターネット

11月5日 藤前干潟

11月12日 資料の作成

報告日: 20 09 年 10 月 29 日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 7 班 報告者氏名: 大野 祥平

1. タイトル: 鉄道周辺のこれからの利用法

2. 立体交差化の推進 (電車)

今現在の名古屋は一部間を立体交差化している。
そこで今の立体交差化している区間でどのようなメリット・デメリットがあるのかを今後調べる。

そこで

- 1) 踏切遮断による交通渋滞、踏切事故の解消
- 2) 地域分断の解消と周辺住民等の利便性の向上
- 3) 周辺市街地における土地利用の可能性の増大
- 4) 高架下区間や鉄道用地跡地の多目的な活用
- 5) 駅前広場等の整備・改良
- 6) 鉄道施設の改良による安全性の向上、騒音の減少

上記のことをこれから詳しく調べていきたい。

3. 調査方法

おもにインターネットで調べる。

道路や線路に詳しい先生や教授に聞く。

実際に踏切遮断によって交通渋滞が起こっている場所を調べる。

4. 全体の日程

10/31 今回調べた内容をもっと明確に調べる。

11/5、12 パワーポイント作成

11/19 中間報告

報告日: 2009年10月29日

都市環境プロジェクト実習 グループ報告書

グループ: 8 班 報告者氏名: 北出 真

活動計画

- 1 水害について(仮)
高瀬
- 2 水害の被害とその避難経路。現在の被害とその原因。今後の対策について。
- 3 インターネット及び鷺見アドバイザー教員の所有する資料を利用する。
また、調査としては、水害の専門家の意見をうかがいに行く。

4日程

全体計画

- ・現在までの主な水害および被害、および今後大型災害のシュミレーションについて説明。
- ・現在の災害の避難場所・避難経路について説明。
- ・現在の水害対策の問題点。
- ・今後の避難場所・避難経路についての提案。
- ・＜PS＞私たちの提案する施設・経路・設備。

日報(予定計画)

10月29日～10月31日

- ・現在の水害の被害、それに対する避難場所・避難経路を把握する為、および現段階の政府の対策を調べる為に、インターネット及び、鷺見研究室等の資料を用いて調べる。

10月5日

- ・上記の2回で調べた事項を整理する。時間が許せばパワーポイントの作成も。

10月12日

- ・甲班 整理した事項をパワーポイントでの作成を始める。
- ・乙班 鷺見先生に水害の専門家として意見をうかがいに行く。

10月19日

- ・中間発表。・・・以下、質問に合わせて推敲し動く。一部をポスターセッション用へ移行。

本報告書のファイルは、本授業の HP <http://godos2.daido-it.ac.jp/kpage/sumi/poroj/proj.htm> からダウンロードできます。